

全力笑顔の運動会

校長 中山 正之

10月23日、秋季運動会が実施されました。過去2年間は雨のため翌日に延期しなくてはなりませんでしたが、今年は快晴のお天気に恵まれました。今回も前日が雨模様で準備が進められず、しかも夜になってもなかなか止まないので少しやきもきさせられました。しかし、夜が明けると抜けるような青空になっており、天気予報通りだったとはいえ、ほっとしました。また、雨上がりで校庭も程よく湿気を含み、本当に理想的なコンディションで行うことができました。

今年の運動会も昨年に引き続き、縮小された形で実施いたしました。計画の立案段階では、 感染爆発の最中に教職員で長い時間をかけて検討を重ねました。そして今回の運動会は、感染 症対策を第一とすること、子ども達の学習の成果を発揮できるものにすることの二点を基本的 な考え方とするという結論に至りました。子ども達の出場種目を一つに絞ったことや開閉会式 をテレビ放送としたこと、保護者の皆様の参観時間を短くさせていただいたことなど、昨年よ りも縮小した実施の背景はこの考え方に基づいています。また、他クラス、異学年交流が認め られた分散登校終了後に練習や諸活動を開始して準備を進めていくことは、スケジュールとし てはなかなか厳しい状況ではありました。ただ、感染状況が落ち着いたこの時期に行うことと なり、結果的に良かったと思います。全児童が互いの演技を鑑賞でき、保護者の皆様にもご覧 いただける運動会として、なんとかやり遂げられたという安堵を感じています。

さて、今年子ども達が作ったテーマは、「駒小みんなで支え合い、全力笑顔でやりきろう」でした。例年、運動会の準備が始まると、演技や競技の練習を行う一方で、盛り上げるために、各学年が分担をしてポスターや案内状、会場の装飾等に取り組みます。子ども達も教職員達も一丸となって進めていき、それらを通じて主体性や協力、責任といった態度を養っていきます。今回は演技の練習が中心であったため、1年生から5年生までは他の活動が控えめとなってしまいましたが、6年生にはできるだけ活躍してもらうようにしました。制約のある中でしたが、6年生の子ども達は私達の期待に十分に応えて、各自の役割をしっかりと果たしてくれました。当日のプログラムの最後で、嵐の「カイト」をバックに演技を披露していた姿からは、自信と達成感が伝わってきました。演技を終えた後の笑顔も大変印象的でした。残り半年足らずとなった学校生活を、この運動会のように笑顔でやりきってほしいと心から願います。そして様々な工夫を凝らしてすばらしい演技を見せてくれた1年生から5年生達も、自分達の良さを発揮できた大きな経験として、この運動会を記憶に留め、次へのステップにしてほしいと思います。

最後になりましたが、磯ヶ谷 PTA 会長並びに役員の皆様方には、運動会の実施に向けて今年も多大なご支援をいただきました。Komakko club のお父様達には朝早くからご活躍いただきました。そして何より保護者の皆様方には、不安定な見通しの中、様々なご理解とご協力をいただき、子ども達を支えていただきました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。